

WALKING MAP

～自然の小径～

深山砲台跡

のミステリーを感じる散歩道

約3kmコース

(標準コースタイム:約1時間)

気楽に歩ける散歩道



休暇村紀州加太

和歌山県和歌山市深山483

TEL 073-459-0321

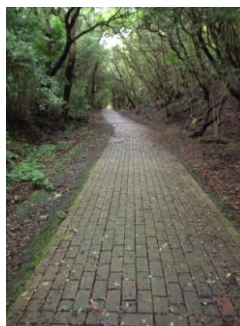
I レンガ畳の道を進んで行くと庭園や寺社などによく見かけるエノキの大木が見られます。その他晩秋に赤い実をつけるシロダモ、ぶどうのような花を咲かせほかの樹木に巻きつきながら育つフジが見られます。

右エノキの大木



J 穏やかな下り坂で両脇には様々な植物が生育し、耳を澄ませば鳥のさえずりや木々のざわめきが聞こえ自然に包まれます。出口左手には大きなヤマモモの木が向かえてくれます。そのまま舗装道路を宿舎に進めばゴールです。

レンガ道



～ウォーキングについて～

- ウォーキングはひとそれぞれのペースで楽しむことが大切です。
- スニーカーやウォーキングシューズなどの歩きやすい靴を着用しましょう。
- ウォーキングによって生じる疲労を回復するためには、休息をたっぷりとることが大切です。
- こまめに水分補給を行いましょう。

F **展望台**
林道をぬけるとさわやかな光が差し込み目の前は一気に紀淡海峡が広がります。展望台があり船の行き交う海を眺めながらちょっと一休み、周辺ではサクラの木や冬から春先にかけて咲くスイセンが潮風にゆられかわいく咲いています。



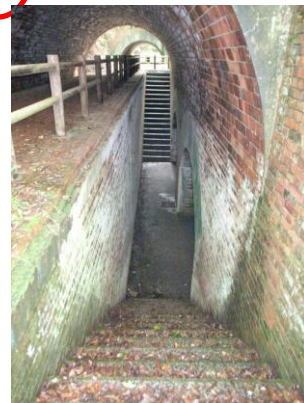
G 階段を下りると砲台跡の広場がありここには日陰などでよくみるドクダミが生えています。初夏に花を咲かせ4枚の白い花の中心に穂状の花がついています。薬効がありよくお茶としても飲まれます。

ドクダミ



H レンガ畳の広場を進むとここにも弾薬庫があります。大阪湾防衛の目的で作られ今も比較的きれいに残っています。でも中に入るのはちょっとこわいね…。

弾薬庫



A

スタートは宿舎周辺、右に行けば展望台があり加太の町や紀淡海峡、友ヶ島が一望でき、隣にはプールがあり夏場はお子様連れの人々が賑わいます。そのまま来た道を戻り宿舎真正面の園地に向かいます、広い園地で日向ぼっこに最適です。山手には備長炭で有名なウバメガシが見られますこの木はこの周辺では所々で多く生育しています。近くには旧陸軍の作った弾薬庫があります。そのまま道なりに進むと木々が生い茂りうす暗い道にはいります。この周辺では6月上旬ぐらいにホタルが見れることがあります。ホタルのなかでも小さいヒメホタルです。



B

舗装道路に出たら坂道を下りましょう。右手には暖地の海岸付近に生育し、春先に白い花を咲かせるトベラやツバキ、初夏に甘酸っぱい実を付けるヤマモモ、子供たちにも馴染みのドングリのなるクヌギの木が見られます。

左ヤマモモ 右トベラ



C

右手に大きなヤマザクラがありここからの道は下り道でこもれびの道と呼ばれています。その名の通り両脇にはいろいろな木が生い茂りそのすきまから日の光がこぼれ落ちとてもさわやかな気持ちになります。



D

坂道を下ると、海岸へ行く道と砲台跡へ行く道の分岐点です。階段を上った先の道は砲台跡へ行く道です。下りの道は海岸へ行く道です。



E

ここから先の道は地道で地面がぬかるんだりするので雨の降った日などは危険なので引き返しましょう。この道はヤブツバキが生え初春には赤い花を咲かせます。秋ごろにはマツの木がマツボックリを落とします、成熟した種はマツボックリから出て風に吹かれます。先にはベンチがあり紀淡海峡が一望できます。背面には休暇村の宿舎が小さく見えここまで来たのだな～と思いますよ。



標準コース①⇒②⇒③
※約1時間のコースです。
ゆったりコース①⇒③
※展望台で引き返しましょう。